

佐藤一美さん
オススメ!

練習が劇的にはかどる!

SEIKO SMP100 で

セイコーの「SMP100」は、レッスンでも、個人練習でも、アンサンブル練習でも、役に立つ機能が満載のメトロノーム&チューナーです。一体どこが便利なのか、実際に佐藤一美さんがレッスンで使ってくれました!

さっそう、レッスンで使ってみましょう♪

まずは
メトロノーム機能を使って
ロングトーンの練習

佐藤 **かなり大きな音が出ますね!**
このボリュームならアンサンブル練習でも重宝します。人数によって音量を調節できますね。



チューナー機能を使って一音ずつ
音程チェック

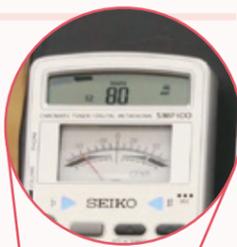
佐藤 **針式メーターが見やすくていいですね。** とても正確に反応してくれるのですが、動きがキツすぎないので、わずかな音程の違いを一音一音確認しやすいです。



レが高くなりがちなので、少し息の量を調節してみましょう。

曲練習!
難しい2拍3連の
リズムを
マスターしましょう

佐藤 SMP100のメトロノーム機能は、**多くのリズムパターンに対応しています。** まずSMP100でゆっくりのテンポから2拍3連のリズムを鳴らして、それに合わせて吹いてみましょう。この時、メトロノームの光を見ると4分のリズムを刻んでくれていますので、耳で2拍3連を聞きながら、目では4分を感じることができます。



感覚がつかめてきたら、メトロノーム音を4分のリズムに戻してトライしてみましょう。わかりづらい場合は、吹く前にまずは手拍子でリズムを取ってみてください。できるようになったら、徐々にテンポを上げていきます。



シンプル操作&お役立ち機能が詰まったメトロノーム・チューナー

Ocarinaが上達する!



SEIKO SMP100
[希望小売価格] ¥9,800 (税別)
[電源] 単4形乾電池2本
[外形寸法・重量]
79 (W) × 138 (H) × 30 (D) mm
約 180g (単4電池 × 2含む)

オカリナも
収納できる
ポーチ付属
サイズ
(190mm×135mm)

音程がズレやすい
フレーズは、
基準音を鳴らして
チェック

佐藤 **大きな音で基準音を鳴らしてくれるので、それに合わせて吹けば自分の音が高いのか低いのか確かめやすいです。** 一音ずつ確かめて、楽譜にその音が“↑高くなりやすい”または“↓低くなりやすい”を記入していきましょう。



これ一台で、音程とリズム練習はバッチリ!

基準音と見やすいメーターで、音程チェックの練習が効率的に

佐藤 音程については、レッスンでも重視しています。みなさん練習を重ねるほどとても上手になってきていますから、そうすると必然的に音程を意識しなければなりません。アンサンブルになるとよりシビアになってきます。SMP100はレッスンでとても使いやすかったです。まず針のメーターがとても見やすい。デジタルだとしてもチラついてしまい見づらいこともありますが、針だと皆で眺めても見やすいです。また、微妙な音程のズレをしっかり確認できるのも、針だからこそできることですね。

オカリナは音程が変化しやすい楽器です。ですから、常に音程を意識することが大切です。先ほどの練習でもしつこいくらいに確認しましたが、どの音が音程が高くなりやすいのか、低くな

りやすいのかを自分で把握しておけると良いですね。あと、SMP100の基準音を鳴らせるのも嬉しい機能です。基準音に合わせて音を出して確認すること。針で見るだけでなく、自分の中で音のイメージをしっかりと持つ訓練になります。かなり幅広く基準音を鳴らせますから、下の音を聞きながらオクターブ上の同じ音を歌ってみる、といった勉強にもなりますね。まずは基準音に合わせて吹いてみる、その後メーターで合っていたか正しくチェック、という流れを一台でスムーズに実現できるのは、大変効率的です。

デジタルメトロノームで、さまざまなリズム練習がやりやすい

佐藤 メトロノーム機能も、さまざまなパターンに設定できるので重宝しますね。先ほども出てきた「3連符の練習」は、なかなか自分だけでは理解し

づらいこともあります。そんなときに、実際に正しいリズムを聞きながらパターンを頭の中に刻んでいけるので、覚えるスピードも早いはずですよ。

毎日の個人練習をワンランクアップ

佐藤 個人練習でも、一台持っているときさまざまな練習に活用できますね。操作がシンプルなので、一度慣れてしまえば簡単に使えると思います。何よりこの針の見やすさは、どんな場面でも練習のしやすさに直結するはずですよ。まずはこのSMP100を使った練習の仕方を覚えてもらって、家で同じことができると、上達のスピードがまったく変わってくると思います。

